

第96回 日本繁殖生物学会大会開催要領

皆様、帯広へようこそ！第96回日本繁殖生物学会大会を下記の要領で開催いたします。

本大会では、一般発表（144題：口頭発表89題，ポスター発表56題）に加えて，特別講演，公開市民講座，ランチョンセミナー，若手企画シンポジウム，企業展示が催されます。

今回の帯広大会では，大会内容の枠組みやルールをさらに新しく且つシンプルにすべく企画しています。特に，一般講演に十分な時間を確保し（10分発表，5分議論の予定），最新の研究成果について，是非とも活発で建設的な議論をしていただきたいと考えています。優秀発表賞は，エントリーがあった発表について書類選考により8題が選出され，初日のスターティング・プログラムとして2次選考が行われます。優秀発表賞は，研究内容に加えてプレゼンそのものと発表後の議論にも重点が置かれており，今後，本学会でのプレゼンのスタイルの基盤を示すものとなることを願っています。一般講演に十分な時間を割くためシンポジウムやワークショップを割愛し，特別講演を2つだけ設定しました。特別講演では，生殖科学の時代の移り変わりをその中心で身をもって体験してきた，本学会にも関わりの深い研究者である Prof. Roger V. Short (University of Melbourne, Australia)と Prof. Dieter Schams (Technical University of Munich, Germany) のお二人に大きなテーマで講演いただき，我々自身の研究分野の今後のあり方を考える機会をつくりたいと思います。

最終日（9月13日）の夕方には，「ライフサイエンスへの扉：性～いのちが生まれるしくみ，いのちを伝えるしくみ」と題して公開市民講座を開催します。本学会では初めて小学生高学年から中学生を対象に，学会から2名の先生方と帯広でご活躍の2名の方々をスピーカーとしてお願いし，我々が次世代にライフサイエンスの感動と不思議をどのようにして伝えられるかについて考えたいと思います。

澄んだ空気のもと，皆様には帯広で充実した3日間を過ごしていただけますよう，祈っております。

記

1. 期日 2003年9月11日（木） 優秀発表賞コンペ（口頭発表8題），特別講演-1，
第4回若手企画シンポジウム，評議員会，各委員会
12日（金） 一般講演，一般ポスター貼りだし，特別講演-2，
総会，受賞者講演，優秀発表賞授与，立食パーティー
13日（土） 一般講演，一般ポスター発表，公開市民講座
2. 会場 帯広市とかちプラザ
3. 会長 帯広畜産大学 佐藤 邦忠
4. 連絡先 〒080-8555 帯広市稲田町西2線11
帯広畜産大学 第96回日本繁殖生物学会 大会事務局長 宮本明夫
(帯広畜産大学畜産科学科畜産生命科学講座生殖科学グループ内)
TEL: 0155-49-5416 FAX: 0155-49-5593 E-Mail: akiomiya@obihiro.ac.jp

帯広畜産大学

会長 佐藤 邦忠 TEL: 0155-49-5380 FAX: 0155-49-5593 E-Mail: ksato@obihiro.ac.jp

事務局長 宮本 明夫 TEL: 0155-49-5416 FAX: 0155-49-5593 E-Mail: akiomiya@obihiro.ac.jp

福井 豊 TEL: 0155-49-5415 E-Mail: fukui@obihiro.ac.jp

手塚 雅文 TEL: 0155-49-5417 E-Mail: mtetsuki@obihiro.ac.jp

大谷 昌之 TEL: 0155-49-5652 E-Mail: mohtani@obihiro.ac.jp

鈴木 宏志 TEL: 0155-49-5652 E-Mail: hisuzuki@obihoro.ac.jp

大星 健治 TEL: 0155-49-5376 E-Mail: oboshi@obihoro.ac.jp

宮澤 清志 TEL: 0155-49-5381 E-Mail: miyazawa@obihoro.ac.jp

北海道立畜産試験場 受精卵移植科 遺伝子工学科

南橋 昭 TEL: 01566-4-5321 E-Mail: minamiha@agri.pref.hokkaido.jp

独立行政法人 家畜改良センター 十勝牧場

二階堂 純信 TEL: 0155-44-2131 E-Mail: sOnikaid@nlbc.go.jp

社団法人 ジェネティクス北海道

松崎 重範 TEL: 01566-2-2158 E-Mail: matsuzaki@gh-assoc.ne.jp

全農飼料畜産中央研究所 受精卵移植センター

青柳 敬人 TEL: 01564-2-5811 E-Mail: etcenter@jeans.ocn.ne.jp

北海道農業開発公社 十勝育成牧場

山科 秀也 TEL: 01558-7-5121 E-Mail: yamasina@adhokkaido.or.jp

帯広市農政部営農課

米倉 進 TEL: 0155-59-2323 E-Mail: norin@netbeet.ne.jp

5. 参加費	学会正会員	5,000 円
	学生会員	3,000 円
	非会員	6,500 円

但し、全て8月号と同封で事前送付されている本講演要旨集代を含みます。帯広大会へ参加（発表）登録した学生会員へは、自動的に講演要旨集が郵送されます。参加費は当日会場の参加受付でお支払い下さい。

学会へは講演要旨集を御持参下さい！！

6. 一般講演

一般講演は、口頭発表（2会場；発表 10 分，議論 5 分）とポスター発表（2時間）を行います。分野は以下のように分類しました。

- 1) 内分泌：視床下部・下垂体・松果体・乳腺など生殖に関わる器官とホルモン，それらによってコントロールされる生殖行動など。
- 2) 卵巣生理：卵胞発育と成熟，排卵，黄体形成と退行など卵巣の生理機能など。
- 3) 精巣生理：精巣および副生殖器官の生理機能など。
- 4) 生殖細胞：卵子・精子形成から受精，胚の初期発生など。
- 5) 妊娠：発情周期中あるいは受精から着床，分娩に至るまでの胎児発育と，それをサポートする卵管・子宮・胎盤・卵巣・内分泌機能。
- 6) 生殖工学：IVF，凍結保存，クローン関連技術，遺伝子導入など。
- 7) 臨床・応用技術：生殖に影響を与える疾病とその治療法など。AI，ET，ホルモン処置，ホルモン測定などの応用技術。

7. 発表形式

口頭発表会場には、液晶プロジェクター（パワーポイント）方式を初めて導入します。各会場には、液晶プロジェクターとパソコン（PC）一式と OHP を用意しますので、どちらか一方をお使い下さい。基本的には、演台で演者が自らパソコンを操作して発表していただきますが、補助者が必要な場合は発表者側で操作願います。OHP についても、発表者側で操作をお願いします。以下に条件の詳細を述べますので必ず熟読いただき、発表時のトラブルを避けるようお願いいたします。御存じのように、液晶プロジェクター方式で1度トラブルが発生すると、大きな時間のロスが発生し、セッション全体に影響します。

1) 口頭発表

- ・ 発表時間は 10 分，討論 5 分，計 15 分間です。演者は時間厳守をお願いします。
- ・ 演者は、発表されるセッションが始まる 30 分前までに、レインボーホール入り口付近に設置される窓口でファイル受付をすませてください。朝 8 時 30 分からのセッションの方は、必ず前日夕方までに 受付をすませてください。各セッションの開始までに、全ての演者のプレゼンテーションファイルをあらかじめパソコンへ移す作業を行います。
- ・ 4 月号の案内で、MO ディスクによるファイルの持参も可能であると告知しましたが、MO ドライブは準備しないことになりました。液晶プロジェクターで発表される方は、CD あるいは USB フラッシュメモリでファイルをご持参ください。
- ・ 使用するパソコンは IBM ThinkPad (Pentium III-600MHz, 内蔵メモリ 192MB), システムは Windows 2000 Professional, プレゼンテーションソフトは PowerPoint 2000 です。ご持参いただくデータが、上記システムおよびソフトウェア上で問題なく操作できることを、必ず事前にご確認ください。
- ・ なお、上記の一連の条件を踏襲することが不可能な場合、不測の事態に備え、OHP による発表も可能なよう準備されることをお勧めいたします。

チェックリスト

- ・プレゼンテーションは、PowerPoint で作成あるいは PowerPoint ファイルに変換されていますか？
- ・ファイルは、Windows 2000 Professional (システム) 下の PowerPoint 2000 (プレゼンテーションソフト) で、問題なく操作できますか？
- ・アニメーションやその他容量の大きなファイルを用いて発表される場合、使用するパソコン (Pentium III-600MHz, 内蔵メモリ 192MB) の機能で、問題なく動作しますか？
- ・ファイルを CD あるいは USB フラッシュメモリに保存しましたか？
- ・準備した CD あるいは USB フラッシュメモリからのファイル読み込みと動作の確認をしましたか？

* Macintosh ユーザーの方へ (上記のほかに以下のことにご注意ください！)

- ・プレゼンテーションは、Windows 版 PowerPoint ファイルに変換されていますか？
- ・変換されたファイルについて、Windows 2000 Professional (システム) 下の PowerPoint 2000 (プレゼンテーションソフト) で操作した場合、文字化けや位置のずれなどを確認・修正しましたか？

2) ポスター発表

- ・ポスター用ボードのサイズは、横 90 cm×縦 175 cm です。
- ・演者は9月12日 (金) の 15:30 までに、アトリウムに設置してあるボードにポスターを貼ってください。
- ・ポスターは各自で用意した画びょうまたはピンで固定してください。
- ・演者は発表時間である9月13日 (土) の 13:30~15:00 (最後の 30 分間はコーヒブレイクとなるので、コーヒ片手に議論してください) の 90 分間は各自のポスターの前で対応してください。
- ・ポスターは9月13日 (土) の夕方 17:00 までに撤去してください。

8. 優秀発表賞の考え方と審査方法

優秀発表賞は、大会長がその大会で発表される演題について授与する賞です。帯広大会では、これまでの学術大会等検討委員会での議論に基づいて、優秀発表賞を学会としてオーソライズして、大会で発表される演題について透明性をもった評価基準とシステムによって決定することにしました。最終的には、大会長が一連のシステムから導き出された評点をもとに、学会理事長の承認を得て大会長と理事長の連名で授与することになります。当面は、各大会事務局と学術集会等検討委員会が連携して新しいシステムの運用と改善を行ってゆくことが望ましいと考えます。

優秀発表賞への3つの提言

今回の優秀発表賞は、完全に‘開かれた選考’によって受賞者を決定しようとするものです。そのためには、選考基準は誰にでも解る明瞭なものが必要です。同時にすべての審査員は、選考理由について明確に説明できなければなりません。大会初日に設定されている2次審査の場では、聴衆は誰もが優秀発表賞の選考に参加している実感をもてるような雰囲気大切だと考えます。この場は、発表者、審査員、聴衆にとって真剣な舞台であり、新しい発見と学習の場であるはずで。以下に、3つのポイントとして優秀発表賞への考え方を記し

ます。

- 1) **研究成果より研究過程を**：多くの賞は成果によってのみ判断される傾向があります。優秀発表賞では、むしろ成果に至るまでの過程（アイデア、研究の組み立て方など）を重視することで、研究の進め方に光を当てたいと思います。最近、研究の進め方を学ぶ機会は意外に限られてきています。優秀発表賞の選考過程が、様々な分野の‘探求する心’を刺激し、学ぶ場となればと期待します。
- 2) **どの研究分野からも応募できる**：莫大な予算が必要な基礎研究がある一方で、現場の些細な観察の集積から生まれる研究もあります。本優秀発表賞は研究分野や組織・資金にかかわらず誰もが応募できるような賞であることが重要だと考えます。
- 3) **わかりやすい発表を**：本学会は基礎から応用・臨床まで幅広い分野の人々で構成されています。違う分野の人が興味をなくしてしまうような発表スタイルではなく、未知の分野に興味をかきたてられるような、あるいは自分の専門分野との繋がりにはっとするような、わかりやすい発表スタイルを求めています。

優秀発表賞も回数を重ねるにしたがってより組織化され、身重になってくる危険性をはらんでいます。常に新しい空気が入り込んでくるような、そして学会参加者の誰からも同じ距離にあるような賞を心がけるようにしたいものです。

採点基準

採点は技術点（経験による技術の向上が期待できるもの：方法、結果、スライド、全体のバランスなど）と思考点（アイデア、理解の深さなど：オリジナリティ、イントロ、考察、結論、発表、質疑応答）を考慮して行います。ポイントの配分については学会がどのような能力を育てて行こうとしているのかによって変わってゆく可能性があります。今回は、優秀発表賞への応募は、通常の2倍の字数の専用の要旨の提出を義務づけ、締め切り日を一般講演の申込締め切り日より3週間早く設けました。締め切り直後から、上記の7分野別に責任者を核に4名の委員によって論文タイトルと要旨内容だけを基に（著者と所属は伏せて）書類選考が行われ、口頭、ポスター発表とともに8演題を選出しました。これらの8題が、学会初日のコンペで発表時に学会評議員に審査され、それらの評点をもって大会長が受賞者を決定します。この際、審査員はすべての発表の評点を行わなければなりません。言い換えれば、発表者はどの分野の研究者や大学院生にも興味を喚起し、理解できるプレゼンを求められます。受賞対象枠は、現時点では各発表形態で最大3題ずつを想定しています。以下に、今回の評点の項目と配点を列記しますので参考にしてください。各項目は、それぞれ5：とても優れている、4：優れている、3：標準的である、2：やや不十分である、1：不十分である、の5段階評価に分けられます。

講演要旨

・オリジナリティ

- ✓ 独創性（15p）：研究対象や仮説、得られた結果の解釈が独創的であるか？（目の付けどころと理論の組み立て）
- ✓ 創造性（15p）：実験手法を含め問題へのアプローチに工夫が見られるか？

・イントロダクション

- ✓ 問題提起（10p）：限られたスペースで適確に問題提起がされているか？
- ✓ 目的設定（5p）：目的は明確で的を射たものか？

・方法

- ✓ 実験計画（5p）：適確で無駄のない計画か？
- ✓ 実験手法（5p）：信頼できる実験手法か？方法を十分理解しているか？

- ✓ 解析方法 (5p) : 結果を正しく、目的に沿って解析しているか?

・ **結果と考察**

- ✓ 結果 (5p) : 結果が分かりやすく提示されているか?
- ✓ 考察 (15p) : 結果と整合性のある考察か?

・ **結論**

- ✓ 全体構成と結論 (20p) : 設定された目的に対して整合性のある結論か?

オーラルプレゼンテーション (帯広大会ではオーラル部門のみ)

・ **発表**

- ✓ 口頭発表 (20p) : 分かりやすい発表か? (表現力など)
- ✓ スライド (10p) : 分かりやすいスライドか? (見やすさなど)
- ✓ バランス (10p) : 各セクション (イントロ、方法、など) のバランス
- ✓ 要旨との整合性 (20p) : 要旨とのコーディネーション (要旨と発表内容が補完しあっているか?)

・ **質疑応答**

- ✓ 質問に対する対応 (40p) : 質問に適確に答えられるか?

ポスタープレゼンテーション (帯広大会ではポスター部門はなし)

・ **ポスター**

- ✓ テキスト (20p) : 適確で分かりやすいか?
- ✓ 図表 (10p) : 必要な情報が適確に分かりやすく提示されているか?
- ✓ バランス (10p) : 各セクション (イントロ、方法、など) のバランス
- ✓ 要旨との整合性 (20p) : 要旨とのコーディネーション (要旨と発表内容が補完しあっているか?)

・ **質疑応答**

- ✓ 質問に対する対応 (40p) : 質問に適確に答えられるか?

9. 各種委員会 (すべて、9月11日 (木) 午前中に、とちプラザ内3Fの各会議室にて開催)

1) 理事会	11:00-12:00 (会議室 307)
2) 評議員会 (昼食付き)	12:00-13:00 (会議室 304)
3) 編集委員会	10:00-11:00 (会議室 304)
4) 学会賞選考委員会	9:00-10:00 (会議室 304)
5) 学術集会等検討委員会	9:00-10:00 (会議室 307)
6) 広報委員会	9:00-10:00 (会議室 306)
7) 若手奨励策検討委員会	9:00-10:00 (会議室 305)

10. 学会会場への案内 (地図は航空券・宿泊の案内のページにあります)

● 帯広駅からのアクセス

- 徒歩 / 帯広駅前徒歩1分

● 帯広空港からのアクセス

- バス利用／空港より帯広駅前行き連絡
バス乗車「帯広駅前」にて下車（所要 37 分, 1,000 円）
- タクシー利用／空港より所要約 35 分, 約 6,600 円）

1 1. 特別講演

特別講演では、生殖科学の時代の移り変わりをその中心で身をもって体験してきた、本学会にも関わりの深い研究者である Prof. Roger V. Short (University of Melbourne, Australia) と Prof. Dieter Schams (Technical University of Munich, Germany) のお二人に以下の大きなテーマで講演いただき、我々自身の研究分野の今後のあり方を考える機会をつくりたいと思います。特に若い世代の方々は、またとない良い機会ですので、是非、御来聴下さい。

1) 9月11日（木）15:30-16:30

Prof. Roger V. Short

(The Royal Women's Hospital, Department of Obstetrics & Gynaecology,
University of Melbourne, Australia)

"Stopping the spread of AIDS: lessons from Animal Reproduction"

2) 9月12日（金）13:30-14:30

Prof. Dieter Schams

(Institute of Physiology, Technical University of Munich, Germany)

"Daybreaks in reproductive biology in domestic animals during the past 40 years: From bioassay, radioimmunoassay, transcriptome, and proteome to metabolome"

1 2. 総会および受賞者講演

1) 総会

日 時 : 9月12日（金） 14:45-15:35 会 場 : 第1会場

2) 受賞者講演

日 時 : 9月12日（金） 16:05-18:35 会 場 : 第1会場

(1) 日本繁殖生物学会賞・学術賞

1. 「反芻家畜の卵巣における黄体形成ホルモンレセプターの発現調節ならびに卵胞嚢腫の発生機構に関する研究」

川手 憲俊 会員 (大阪府大) (16:05-16:30)

2. 「甲状腺・副腎・性腺の機能的関連性に関する内分泌学的研究」

藤平 篤志 会員 (16:30-16:55)

3. 「ブタ胚の体外生産、とくに胚盤胞の発生能に関する研究」

菊地 和弘 会員 (16:55-17:20)

(2) 日本繁殖生物学会賞・技術賞

1. 「ウシ生体回収胚及び体外受精由来胚の凍結保存及び性別に関する研究」
富永 敬一郎 (17:30-17:55)
2. 「受精卵移植に関連した先端技術の野外応用に関する試み」
松崎 重範 (北海道ジェネティクス) (17:55-18:20)
- (3) 日本繁殖生物学会賞・奨励賞
「ウシ卵巢における腫瘍壊死因子とそのレセプターの生理的役割に関する研究」
作本 亮介 (18:20-18:35)

1 3. 市民講座

「ライフサイエンスへの扉：性へのいのちが生まれるしくみ、いのちを伝えるしくみ」

日 時：9月13日（土）17:30-20:00
会 場：とちプラザ・レインボーホール
対 象：小学生高学年～中学生

近年、若年層の理科離れが顕著な社会現象となり、我が国の将来像に不安材料を投げかけています。今回、次世代を担う小学生高学年～中学生を対象に、ライフサイエンス研究者である本学会員と帯広の産婦人科医療、動物園で活躍されている方々にスピーカーをお願いし、我々が性に関わるサイエンスの感動と不思議をどのようにして次世代に伝えられるかについて子供たちと一緒に考える機会を設けました。

司会：眞鍋 昇（京都大学大学院農学研究科・助教授）

パネリスト：永井 卓（独）農業生物資源研究所・室長
藤本 智（帯広動物園・獣医師）
森 裕司（東京大学大学院農学生命科学研究科・教授）
真井 徳幸（帯広慶愛病院・院長）

「受精の神秘：いのちの始まり」
「動物園での生命誕生と死」
「性の行動と心理・動物行動学から」
「ひとの赤ちゃんの誕生と体外受精」

1 4. ランチョンセミナー

開催日：平成15年9月13日（土）12:30-13:20
講師名：植田 祐二 氏
（武田シェリング・プラウ アニマルヘルス株式会社ライブストック事業部・マーケティング部）
演 題：フルニキシンを主成分とする消炎剤である「フォーベット」の概要と受精卵移植への応用例

内 容：

フルニキシンは、鎮痛作用やエイコノサイド合成阻害作用を有する非ステロイド系解熱・鎮痛・消炎剤であり、馬、犬猫の鎮痛消炎や牛の大腸菌乳房炎（内毒素血症）の対症療法に用いられています（家畜薬理学・養賢堂）。今回、牛の用途で細菌性肺炎における解熱及び消炎を効能とする承認を取得しましたが、一部フルニキシンの薬理作用を利用した受精卵移植への応用報告もあるので、本剤の薬効薬理を説明するとともにご紹介いたします。御来聴をお待ちしております。

15. 第4回若手企画シンポジウム（若手奨励策検討委員会主催）

今回は、初日の夕方に会場である「とまちプラザ」のメインアトリウムを会場にして、新旧交えての出会いと交流の場としてパーティーを企画しました。その際、幾つかのランダムに選んだ研究室に研究室紹介のポスターを事前にお願ひしておき、それらの情報を話題にしながら、活発な交流ができたかと考えています。天気良ければ、初秋の北海道の夕方を芝生で堪能しながら、会話も弾むことでしょう。詳細は現在企画中です。追って学会HPにてお知らせします。

日 時：9月11日（木）18:30-20:30

会 場：とまちプラザ・アトリウム

対 象：若手と呼べる、あるいは呼ばれたい方はどなたでも！

16. 立食パーティー（十勝野：秋の収穫から）

涼しさが日一日と増し、空が高く蒼く澄んでくる秋の十勝野では、農産物の収穫が本格化します。学会2日目の立食パーティーでは、穫れたての素材をふんだんに使った田舎風料理の数々を、地元の名物レストラン『ランチョ・エルパソ』のプロデュースで皆様にお届けします。地豚の半頭丸焼きスモーク、パエリア、生ハムと季節のフルーツ、本場手造りソーセージ、十勝野に散在するチーズ工房からのナチュラル・チーズ、そして新鮮な野菜の数々を、醸造所直送の地ビールとワイン、そして Jazz トリオ・Add の生演奏によるスタンダードナンバーと共に楽しみ下さい。一日の疲れをほぐし、ゆったりとした気分での会員同士の歓談は、きっと新しい発見や収穫につながる事でしょう。話が盛り上がったなら帯広のダウンタウンへ。歩いてわずか5分、様々な趣向の店が軒を並べています。北国の秋の夜の始まりを、こんなふう始めてみてはいかがでしょう。

日 時：9月12日（金）18:45-20:15

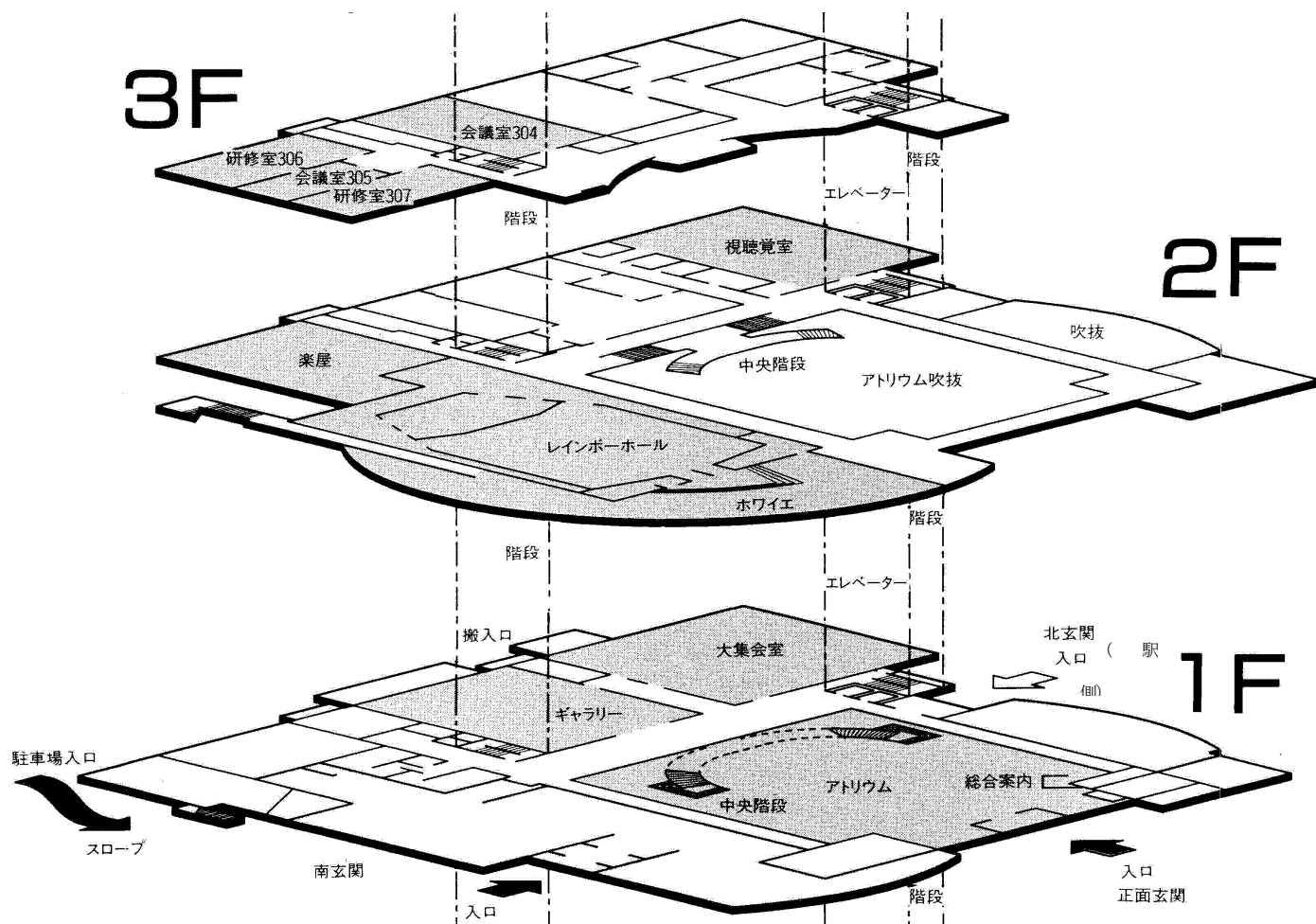
会 場：とまちプラザ・アトリウム

参加費：会員 3,000円

学生会員 1,500円

受け付け時にお払い下さい。

第96回日本繁殖生物学会会場：「とがちプラザ」概要



- **レインボーホール (第1会場/2F)** … 優秀発表賞2次審査 (1-8), 一般口頭発表 (9-48), 特別講演, 総会, 受賞者講演, 公開市民講座
- **ホワイエ** … 一般口頭発表 (第1会場・第2会場) 受付及びパソコン作業
- **視聴覚室 (第2会場/2F)** … 一般口頭発表 (49-89)
- **アトリウム (1F)** … ポスター発表 (90-144), 若手企画シンポジウム, 立食パーティー
- **ギャラリー (1F)** … 企業展示

- 304, 305, 306, 307 (3F) …………… 各種委員会
- 大集会室 (1F) …………… ランチョンセミナー

大会日程表

日付	時間	第1会場 (レインボーホール)	第2会場 (視聴覚室)	アトリウム	ギャラリー	304-307	大集会室
9/11 (木)	9:00			大会受付		各種委員会	
	13:00						
	13:00	優秀発表賞2次審査 (一般口頭発表 1-8)					
	15:00	ブレイク					
	15:30	特別講演-1			企業展示		
	16:30	一般口頭発表 9-15 生殖工学 (発生工学)		49-55 内分泌 (内分泌) 卵巣生理 (遺伝子)		17:00	
	16:40				若手企画シンポジウム		
18:25							
18:30							
9/12 (金)	8:00			大会受付			
	8:30	一般口頭発表 16-22 生殖工学 (核移植)		56-62 卵巣生理 (卵胞)	ポスター貼り出し	9:00	
	10:15	ブレイク					
	10:45	一般口頭発表 23-29 生殖工学 (配偶子の保存, 雄性生殖)		63-69 卵巣生理 (黄体) 精巣生理 (精巣生理)	ポスター貼り出し	企業展示	
	12:30						
	13:30	特別講演-2					
	14:30	総会					
	14:45						
	15:35	ブレイク					
	16:05	受賞者講演				17:00	
	18:35						
	18:45				立食パーティー		
9/13 (土)	8:00			大会受付			
	8:30	一般口頭発表 30-36 生殖工学 (トランスジェニック, 核移植・クローン)		70-76 着床・妊娠 (着床・妊娠)	9:00		
	10:15	ブレイク					
	10:45	一般口頭発表 37-43 臨床・応用技術 (ウシの受胎)		77-82 生殖細胞 (胚・遺伝子発現, プタ配偶子・胚発生)			
	12:15						
	12:30						
	12:30						ランチョン セミナー
	13:20				企業展示		
	13:30				一般ポスター発表 90-144		
	14:30	ブレイク					
	15:00	一般口頭発表 44-48 臨床・応用技術 (栄養と繁殖)		83-89 生殖細胞 (プタ配偶子・胚発生, 卵子・形態)		17:00	
16:15							
16:45							
17:30	公開市民講座						
20:00							

第96回日本繁殖生物学会

一般講演プログラム

本大会では液晶プロジェクターもしくはOHPによる口頭発表と、ポスター発表を行います。

1) 口頭発表

- (1) 講演時間は、発表10分、討論5分、計15分です。演者は時間厳守をお願いします。
- (2) 講演会場には、液晶プロジェクターならびにOHPを各1台準備しますので、どちらか一方を使用してください。
- (3) 演者の方は、発表の30分前までにレインボーホール入口の発表受付でファイルをパソコンに移す作業を行ってください。朝8時30分からのセッションの方は、必ず前日夕方までに受付を行ってください。
- (4) OHPは発表者側で操作してください。
- (5) 演者は全演者の登壇とともに次演者席にお着きください。
- (6) 座長の方は、発表の30分前までにレインボーホール入口の発表受付で来場の確認を行い、担当時間の10分前までに次座長席にお着きください。

2) ポスター発表

- (1) ポスターのサイズは、横90cm、縦175cmです。
- (2) 演者は9月12日(金)の16:00までに、アトリウムに設置してあるボードにポスターを貼ってください。
- (3) ポスターは各自で用意した画びょうまたはピンで固定してください。
- (4) 演者は発表時間である9月13日(土)の13:30~15:00の90分間は各自のポスターの前で対応してください。
- (5) ポスターは9月13日(土)の夕方17:00までに撤去してください。

優秀発表賞2次審査（口頭発表）

第1日目 9月11日（木）13:00～15:00 第1会場（レインボーホール）

座長：服部真彰（九大院・農），眞鍋 昇（京大院・農）

- 1 プロテインチロシンフォスファターゼ PTP ϵ M はブタ卵巣顆粒膜細胞のアポトーシスを誘導する
○田村真理子，中川 嘉，清水英寿，山田律彰，宮野 隆¹，宮崎 均（筑波大学遺伝子実験センター，¹神戸大学農学部応用動物）

座長：九郎丸正道（東大院・農），小倉淳郎（理研）

- 2 MRL/MpJ マウス精巣における減数分裂中期特異的アポトーシスを引き起こす原因遺伝子の解明
○並木由佳，昆 泰寛，浅野 淳，安居院高志（北大院獣医）

座長：今川和彦（東大院・農），片桐成二（北大院・獣）

- 3 胎盤形成における α -tocopherol transfer protein と α -tocopherol の役割
○寺社下浩一，立部貴典，新井洋由¹，鈴木宏志^{2,3}（中外医科学研・薬理病態，¹東大院薬・衛生化学，²帯畜大・原虫研・ゲノム機能学，³東大院医・発生・医療工学）

座長：宮野 隆（神戸大・農），永井 卓（農業生物資源研）

- 4 卵子特異的に発現する新規遺伝子の初期胚内局在に関する研究
○伊原 良¹，南直治郎¹，相澤 明²，高山英恵¹，今井 裕¹（¹京大院農，²家畜改良研究所）

座長：前多敬一郎（名古屋大院・農），川手憲俊（大阪府大・農）

- 5 卵巣割去した泌乳牛における ACTH 負荷に対する血中プロゲステロンおよびコルチゾールの反応
○吉田智佳子，中尾敏彦（広島大学大学院国際協力研究科）

座長：宮野 隆（神戸大・農），服部真彰（九大院・農）

- 6 ブタ GDF-9cDNA のクローニングとこの遺伝子断片の卵巣導入による初期卵胞発育促進
○清水 隆，宮林靖典，横尾正樹，佐々田比呂志，佐藤英明（東北大院農）

座長：今川和彦（東大院・農），奥田 潔（岡山大・農）

- 7 Tumor necrosis factor alpha system in the bovine oviduct: possible mechanism for embryo transport
○Missaka P.B.Wijayagunawardane, Christoph Gabler¹, Gary Killian¹ and Akio Miyamoto（Department of Agricultural and Life Science, Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine, Obihiro, Japan; ¹JO Almquist Research Center, The Pennsylvania State University, University Park, PA, USA）

座長：永井 卓（農業生物資源研），眞鍋 昇（京大院・農）

- 8 サル ES 細胞のヒツジ胎子への移植によるサル造血をもつキメラヒツジの作出
○長尾慶和¹，佐々木京子²，北野良博³，林 聡³，長谷川秀昭^{1,2}，波利井清紀⁴，小澤敬也²，花園豊²（¹宇都宮大農，²自治医科大，³国立成育医療センター，⁴東京大医）

一般口頭発表

第1会場（レインボーホール）

第1日目 9月11日（木）

16:40-18:25 演題番号 9-15

（発生工学）

座長：小倉淳郎（理研）、松本和也（近大・生物理工）

- 9 初期胚クローンにおける胎盤の形態
○小野 由紀子, 河野 友宏(東京農大バイオ)
- 10 マウス卵母細胞の発生支持能獲得とゲノミックインプリンティングの確立
○尾畑やよい^{1,2}, 樋浦 仁¹, 小見山純一¹, 河野友宏^{1,2} (¹東農大・バイオ, ²生研機構)
- 11 マウス雌核発生胚の発生延長
○河野友宏¹, 尾畑やよい¹, 丹羽勝利¹, 高野りや¹, 呉 瓊¹, 小川英彦^{1,2} (東農大バイオ¹, BRAIN²)
- 12 器官培養系と核移植を用いたマウス雌核発生胚に由来する卵子の発生能の解析
○丹羽勝利^{1,2}, 尾畑やよい^{1,2}, 樋浦 仁¹, 高野りや^{1,2}, 河野友宏^{1,2} (¹東農大バイオ, ²生研機構)

座長：今井 裕（京大院・農）、内藤邦彦（東大院・農）

- 13 マウス初期胚の遺伝子発現解析における半減期の短い destabilized luc 遺伝子の有効性の検討
○人見修司, 池田光美, 津崎雅司, 佐藤昭民, 永井 匡, 松本和也¹, 細井美彦¹, 佐伯和弘¹, 安齋政幸¹, 三谷 匡¹, 加藤博巳¹, 入谷 明¹ (近大生物理工,¹近大先端技総研)
- 14 雌核発生胚におけるインプリント遺伝子の発現解析
○小川英彦^{1,2}, 呉 瓊^{1,2}, 尾畑やよい^{1,2}, 河野友宏^{1,2} (¹東京農大バイオ, ²BRAIN)
- 15 マウス体細胞核移植卵における星状体の動態
○三木洋美^{1,2}, 井上貴美子², 越後貫成美², 長嶋比呂志¹, 小倉淳郎² (¹明治大院農 発生工学, ²理研 BRC 遺伝工学)

第2日目 9月12日（金）

8:30-10:15 演題番号 16-22

（核移植）

座長：長嶋比呂志（明大・農）、河野友宏（東農大・バイオ）

- 16 ドナー細胞の細胞周期がウシ核移植胚の発生に及ぼす影響
○笠松 礼, 前田守彦, 岡本知可子, 玉里友宏, 佐伯和弘¹, 細井美彦¹, 松本和也¹, 谷口俊仁², 入谷 明¹, (近大生物理工,¹近大先端技総研, ²和歌山県畜試)
- 17 ウシ胎仔線維芽細胞の細胞周期同期化の検討と G1 初期細胞を用いた核移植について
○浦川真実, 出田篤司, 澤田登起彦¹, 青柳敬人(全農ETセンター, ¹獨協医大第2外科)
- 18 ウシ体細胞核の初期化におよぼす活性化刺激の影響
○谷 哲弥, 加藤容子, 角田幸雄 (近大農)

座長：青柳敬人（全農 ET センター）、山田雅保（京大院・農）

- 19 細胞質脂肪顆粒除去によるブタ体外成熟由来胚の発生能改善効果の解明
○平川和正, 黒目麻由子, 上田英登, 富井 亮, 長嶋比呂志 (明大農)
- 20 ブタ体細胞核移植に関する研究: 融合活性化同時誘起法と遅延活性化法の比較
○黒目麻由子, 藤村達也¹, 上田英登, 若生直浩, 落合 崇, 富井 亮, 平川和正, 村上 博¹, 長嶋比呂志 (明大農, ¹動工研)
- 21 ブタ核移植のドナー細胞としての前駆脂肪細胞の有用性
○松本佑允, 富井 亮, 黒目麻由子, 上田英登, 平川和正, 加野浩一郎¹, 太田昭彦, 長嶋比呂志 (明大農, ¹日大生物資源)
- 22 前駆脂肪細胞を用いたブタ体細胞核移植におけるドナー細胞周期同調処理方法の比較
○富井 亮, 若生直浩, 落合 崇, 黒目麻由子, 上田英登, 平川和正, 加野浩一郎¹, 長嶋比呂志 (明大農, ¹日大生物資源)

10:45-12:30 演題番号 23-29

(配偶子の保存)

座長: 中瀧直己 (熊大), 保地真一 (信大・織)

- 23 細胞質内脂肪顆粒除去処理後にガラス化凍結保存したブタ胚の生存性
○牛島 仁, 河辺敏紀, 江崎律子^{1,2}, 吉岡裕輝^{1,3}, 山下千尋¹, 中根 崇, 桑山正成⁴, 長嶋比呂志¹ (千葉畜総研, ¹明大農, ⁴加藤レディス, ³現筑波大, ⁴現遺伝研)
- 24 非ガラス化溶液によるマウス胚の超急速凍結保存について
○中村忠治, 古舘専一, 東 貞宏 (北里大・医・実験動物)
- 25 ゼブラフィッシュ卵子の低温生物学的特性
○関 信輔, Valdez Delgado Jr, 葛西孫三郎, 枝重圭祐 (高知大)
- 26 メダカ卵子の低温生物学的特性
○Valdez Delgado Jr, 関 信輔, 葛西孫三郎, 枝重圭祐 (高知大)

(雄性生殖)

座長: 葛西孫三郎 (高知大・農), 松田潤一郎 (感染研)

- 27 凍結マウス精子における受精率低下の原因
○西園啓文, 竹尾 透¹, 中瀧直己² (丸動株式会社, ¹熊本大学大学院薬学教育部薬剤情報分析学, ²熊本大学 CARD 資源開発分野)
- 28 ウサギ精子および精子細胞の卵子活性化能についての再検討
○越後貫成美, 井上貴美子, 三木洋美, 広瀬良宏¹, 岡田浩典¹, 竹入修二², 山海 直¹, 小倉淳郎 (理研パイオリソースセンター, ¹感染研霊長類センター, ²北山ラベス)
- 29 人工膾によるチンパンジー精液の採取
○中瀧直己, 坂本 亘, 井手幸恵, 竹市美和子, 中島竜之¹, 友栗徹士, 早坂郁夫², 吉川泰弘³
(¹熊大 CARD, ²三和化学研究所熊本霊長類パーク, ³東大院・農生命)

第3日目 9月13日 (土)

8:30-10:15 演題番号 30-36

(トランスジェニック)

座長: 南橋 昭 (道畜試), 国枝哲夫 (岡山大)

- 30 植物由来不飽和化酵素遺伝子を構成的に発現させたトランスジェニックマウスにおける細胞膜の流動性
○松尾涼子, 池田光美, 塩坂有希乃, 桐本真治, 松本和也¹, 田口善智¹, 細井美彦¹, 佐伯和弘¹, 鈴木石根², 木下幹郎³, 村田紀夫², 入谷 明¹, (近大生物理工, ¹近大先端技総研, ²基生研, ³帯畜大)
- 31 植物由来不飽和化酵素遺伝子を構成的に発現させたトランスジェニックマウスにおける PPAR 遺伝子群の発現
○池田光美, 松尾涼子, 坪内美紀, 松本和也¹, 田口善智¹, 細井美彦¹, 佐伯和弘¹, 鈴木石根², 木下幹郎³, 村田紀夫², 入谷 明¹, (近大生物理工, ¹近大先端技総研, ²基生研, ³帯畜大)
- 32 精子ベクター法によるトランスジェニックブタの作出
成瀬勝俊¹, ○上田英登, 黒目麻由子, 若生直浩, 中田久美子, 富井 亮, 平川和正, 宮崎幸司², 澤崎 徹³, 東條英昭³, 幕内雅敏¹, 長嶋比呂志¹ (東大・医, 明大・農, ²ニプロ(株), ³東大院・農生命)

(核移植・クローン)

座長：若山照彦（理研 CDB），永井 卓（農業生物資源研）

- 33 HVJ エンベロープにより細胞融合を行った牛卵核胞(GV)期再構築卵子の体外発生能の検討
○青野文仁，平田統一¹，桑山正成，加藤 修（加藤レディスクリニック，¹岩手大学農学部附属 FSC 御明神牧場）
- 34 ウシ核移植胚における IGF 関連遺伝子の発現解析
○澤井 健，陰山聡一，森安 悟，平山博樹，南橋 昭，尾上貞雄（北海道立畜産試験場）
- 35 ウシ体細胞クローン胚の呼吸活性
○阿部宏之，珠玖 仁¹，青柳重夫²，内海陽介²，松平昌昭²，白石卓夫³，尾藤 勲，千代 豊，星 宏良（機能性ペプチド研，¹東北大院環境，²北斗電工，³山形県企振公社）
- 36 分娩誘起処置したクローン胚受胎牛における分娩および産子生存性の比較
○金山佳奈子^{1,4}，後藤裕司²，小林修司^{3,5}，的場理子¹，米内美晴¹，斉藤則夫¹（¹家改セ，²家改セ十勝，³家改セ新冠，⁴現 生物研，⁵現 九州農研セ）

10 : 45 - 12 : 30 演題番号 37 - 43

(ウシの受胎)

座長：片桐成二（北大院・獣），大澤健司（岩手大・農）

- 37 乳牛の分娩後の卵巣機能回復型が排卵同期化・定時人工授精による受胎率に及ぼす影響
○山田恭嗣^{1,2}，中尾敏彦¹，磯部直樹¹，（¹広島大院・国際研，²根室地区 NOSAI・標津支所）
- 38 Resumption of ovarian cyclicity postpartum in cow: effect on reproduction and potential risk factors
○Hemanta Kumar Shrestha, Toshihiko Nakao¹, Toshihiko Suzuki², Tsuneo Higaki³ and Masashi Akita⁴(Animal Science Laboratory, IDEC, Hiroshima University¹, Nanbu², Tobu³ and Seibu⁴ Veterinary Clinical Center, Hiroshima P.F.A.M.A.A.)
- 39 分娩後早期の黒毛和種牛の定時授精法におけるプロジェステロン放出腔内挿入製剤併用が卵巣機能に及ぼす影響
○坂瀬充洋^{1,2}，瀬尾泰隆²，川手憲俊²，福島護之¹，野田昌伸¹，武田和士¹，上野 悟¹，斉藤隆文³，和田次雄³，松岡 健³，上仲一洋⁴，田中紀則⁴，玉田尋通²，澤田 勉²（¹兵庫農総セ北部，²大阪府大院，³兵庫農共連但馬，⁴京都農共連北部）
- 40 Incidence of late embryonic death in repeat breeding cows and an attempt to detect DUMPS
○Mohamed Ghanem, Masahide Nishibori¹, Toshihiko Nakao(Lab. of Animal Science, IDEC, Hiroshima University, Lab. of Animal Genetics, Graduate School of Biosphere Science, Hiroshima University)

座長：中田 健（酪大・獣），田中知己（農工大・農）

- 41 乳牛における活動量の連続測定による発情発見法の検討
○大滝忠利，草刈直仁，高橋圭二，堂腰頤，遠谷良樹（道立根釧農試）
- 42 組換え体ウシ IFN- τ の子宮内単回投与による乳牛の黄体期延長効果：投与量と効果との関係
○大澤健司，松永仁子，猪熊道仁，羽田真悟，弘田利恵，安永千秋，下司雅也¹，高橋ひとみ¹，犬丸茂樹²，横溝祐一²，三宅陽一（岩手大，¹畜草研，²動衛研）
- 43 子宮内膜の上皮成長因子（EGF）濃度に異常を示すリピートブリーダー牛に対する治療法
○片桐成二，高橋芳幸（北大獣医）

15 : 00 - 16 : 15 演題番号 44 - 48

(栄養と繁殖)

座長：中尾敏彦（広島大院），川手憲俊（大阪府大院）

- 44 分娩後の乳牛における卵巣周期再開と血中グルコース，インスリン，遊離脂肪酸濃度の変化
○新井真由美，金 昇準，田中知己，加茂前秀夫（東京農工大・農）
- 45 ウシの黄体退行期から卵胞期のエネルギーバランスの低下が生殖機能に及ぼす影響
○中田 健，後藤 聡，石川行一，森好政晴，澤向 豊（酪農大・獣医）
- 46 低栄養条件下のヤギにおけるプロジェステロン腔内徐放剤(CIDR)処置後の卵巣と性ホルモン濃度の変化
○田中知己，藤原謙一郎，金 昇準，加茂前秀夫（東京農工大・農）
- 47 乳牛の移行期における定期モニタリング成績と繁殖成績との関係
○山岸則夫，大星健治，高木光博¹（帯畜大・大動物疾病研，¹鹿大・大動物臨床）
- 48 重鞍馬の分娩後のオキシトシン(OT)投与による血中 OT と PGFM 濃度の変化と胎盤排出への影響
○石井三都夫，小林修一¹，アコスタ トマス¹，緒方 洋，清水洋道，竹内義純，梶谷 涼，山本康了，岡本 拓，野沢利範，久木野鉄久，山ノ井高洋²，宮本明夫¹(釧路地区 NOSAI，¹帯畜大，²北海学園大)

第2会場（視聴覚室）

第1日目 9月11日（木）

16:40-18:25 演題番号 49-55

(内分泌)

座長：前多敬一郎（名古屋大・農）、山内啓太郎（東大院・獣）

- 49 Antiandrogen 酢酸オサテロンのマストミス雌雄前立腺に及ぼす影響
○向井一真, 太田昭彦（明大農）
- 50 交配中の種雄馬における交感神経-副腎髄質系活動の変化
○佐藤文夫, 寺田 節¹, 駒野道夫², 南保泰雄, 長谷川晃久, 楠瀬 良（JRA 総研,¹日獣大,²日本軽種馬協会）
- 51 ニワトリ下垂体前葉の TGF β とその受容体の mRNA 発現に及ぼす絶食と再給餌の影響
○V.S. チョードリ・西堀正英・吉村幸則（広大院生物圏）

座長：代田真理子（食品安全セ）、岡村裕昭（農業生物資源研）

- 52 雌ラットの LH 分泌制御における負のエネルギーシグナルとしてのケトン体の新規な役割
○木下美香, Tan, De Luna M.C., 東村博子, 前多敬一郎（名古屋大学大学院生命農学研究科）
- 53 雌ラットの性成熟を制御するエストロジェンフィードバック作用部位
○上野山賀久, 田中 晃, 東村博子, 前多敬一郎（名大院・生命農）
- 54 第4脳室壁で発現するグルコキナーゼ遺伝子の転写開始点とコード領域の解析
○岡崎裕活, 加藤たか子, 加藤幸雄, 東村博子¹, 前多敬一郎（明治大・農・生命科学・遺伝情報制御学研究室,¹名古屋大・院・生命農学・動物生殖制御学研究分野）

(遺伝子)

- 55 *Fkbp6* の変異遺伝子 *as* をホモに有する雌ラットの繁殖能
○野口純子, 河合康洋¹, 菊地和弘, 金子浩之, 国枝哲夫¹（独法 農業生物資源研究所,¹岡山山大学院）

第2日目 9月12日（金）

8:30-10:15 演題番号 56-62

(卵胞)

座長：三宅陽一（帯畜大）、服部真彰（九大院・農）

- 56 PTP1B はラット卵巣顆粒膜細胞の生存を促進する
○中村健一郎, 清水英寿, 宮崎 均（筑波大・遺伝子実験センター）
- 57 卵子由来因子によるラット卵胞における IGFBP-4 分解酵素の発現制御
○松井基純¹, Shunichi Shimasaki, Gregory F. Erickson（University of California, San Diego,¹現帯畜大）
- 58 ブタ卵胞の顆粒層細胞アポトーシスを抑制する細胞膜および細胞内因子
○眞鍋 昇, 松井俊勝, 後藤康文, 井上直子, 前田晃央, 宮本 元（京都大学農学研究科・生体機構学）
- 59 ウシ発情周期中の第1卵胞波にともなう各卵胞基底部の血流観察が可能な卵胞数の経時的変化
○林憲悟, Tomas J. Acosta, 松井基純, 大谷昌之, 宮本明夫（帯畜大）

座長：眞鍋 昇（京大・農）、宮崎 均（筑波大・遺伝子実験センター）

- 60 三次元内部構造顕微鏡装置を用いたウマ卵巣の観察：各繁殖ステージにおける立体構造の比較

○平野悠子, 木村順平, 横田秀夫¹, 中村佐紀子¹, 竹本智子^{1,2}, 三島健稔^{1,2}, 牧野内昭武¹, 南保泰雄³, 津曲茂久 (日大獣医¹ 理研² 埼玉大³ JRA日高)

61 Cell proliferation in the healthy antral and atretic follicles of swamp buffalo

○Jun Babaan Feranil, Naoki Isobe, Toshihiko Nakao (Laboratory of Animal Science, IDEC, Hiroshima University)

62 雌ウマの排卵時における卵胞液の腹腔内流出に関する研究: inhibin Aおよびestrone sulfate濃度の変化について

○南保泰雄, 朝井 洋, 中井理恵¹, 田谷一善¹ (JRA 日高, ¹東京農工大)

10:45-12:30 演題番号 63-69

(黄体)

座長: 奥田 潔 (岡山大), 宮本明夫 (帯畜大)

63 黄体内の血流像を利用したhCG投与によるウシ黄体形成促進効果の解析

○鎌田大地, 田中 純, 松井基純, Missaka P B Wijayagunawardane, Tomas J. Acosta, 大谷昌之, 宮本明夫 (帯畜大)

64 プロラクチンは、ウシ黄体の局所機能調節因子なのか?

○柴谷雅美, 村上周子, 奥田 潔 (岡山大・院自然科学研)

65 自発的に退行中のウシ黄体内血流は退行初期に1度増加しその後減少する

○白砂孔明, 松井基純, Missaka P B Wijayagunawardane, 金子悦史, 大谷昌之, 宮本明夫 (帯畜大)

(精巢生理)

座長: 九郎丸正道 (東大院・農), 渡辺 元 (農工大・農)

66 甲状腺機能低下症ラットrdwに置ける精巢の発育遅延と早期退行

○古館専一, 東 貞宏, 酒井康弘¹ (北里大学医学部実験動物学, ¹解剖学)

67 ラットの精巣発達に及ぼす出生初期から幼若期にかけての甲状腺ホルモンの影響

○梅津元昭¹, 戸松千紗子¹, 福山聡子¹, 利部聰², 新村末雄³ (宇都宮大農¹ 山口大農² 新潟大農³)

68 受精能獲得におけるブタ精漿リラキシン様蛋白質の作用機序: 4. 精子細胞内cAMP濃度の解析

○新井 佳, 高坂哲也, 渡辺伸也¹, 佐々田比呂志², 佐藤英明², 番場公雄 (静岡大農, ¹(独法人) 畜草研, ²東北大院農)

69 ブタ精巣におけるリラキシン標的細胞と受容体分子の同定

○加藤真一, 松井香澄, 高坂哲也, 番場公雄 (静岡大農)

第3日 目9月13日(土)

8:30-10:15 演題番号 70-76

(着床・妊娠)

座長: 田村和広 (東京薬大), 玉田尋通 (阪大院・農)

70 マウス着床・胎盤形成に与えるビスフェノールA(BPA)の影響

○脇本雄樹, 本道栄一, 木曾康郎 (山口大学農学部獣医学科家畜解剖学講座)

71 胚における着床期特異的なIntegrinの発現

○今井美沙, 高橋祐司, 永岡謙太郎, 今川和彦 (東大院農)

72 マウス胚におけるHβ58遺伝子の発現

○松橋珠子, 橋本絵里, V Rider¹, F Costantini², 今川和彦 (東大, ¹Pitt St Univ, ²Columbia Univ)

座長: 今川和彦 (東大院・農), 木曾康郎 (山口大・農)

73 ウシ栄養膜細胞における細胞増殖と関連した細胞内Ca²⁺シグナル

○中野春男^{1,3}, 嶋田 新^{1,4}, 今井 敬², 高橋 透¹, 橋爪一善¹ (¹生物研 発生分化 G 生殖再生 T, ²家改セ, ³学振 科技特, ⁴ 科技団 重点支援)

74 Developmental changes in the expression patterns of liver genes in the bovine fetus throughout pregnancy

○C. B. Herath, S. Shiojima¹, H. Ishiwata, S. Katsuma², T. Kadowaki¹, K. Imai³, T. Takahashi, A. Hirasawa², G. Tsujimoto² and K. Hashizume (Laboratory of Reproductive Biology and Technology, National Institute of Agrobiological Sciences, ¹Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Kyoto University, ²Department of Pediatric Pharmacology, National Institute of Child Health and Development, ³National Livestock Breeding Center, Fukushima)

75 ウシインターフェロンα放射免疫測定法の検討

○高橋ひとみ^{1,5}, 高橋昌志², 長屋英和³, 平子 誠¹, 犬丸茂樹⁴, 下司雅也¹, 岡野 彰¹, 奥田 潔 (¹畜草研, ²九冲農研, ³片

倉工業,⁴動衛研,⁵岡山大院)

- 76 子宮造影後の自然交配および凍結人工授精における犬の繁殖能力
○野口英亮, 津曲茂久, 石名坂豪, 井上智陽, 笹川はる, 江藤園子 (日大・獣医繁殖)

10:45-12:15 演題番号 77-82

(胚・遺伝子発現)

座長: 徳永智之 (農業生物資源研), 三宅正史 (神戸大・農)

- 77 第3卵割時期におけるマウス雄胚の発生優位性の検討
○川瀬洋介, 羽仁俊夫, 青木ゆかり, 立部貴典, 鎌田宣夫, 寺社下浩一, 鈴木宏志^{1,2} (中外医科学研・薬理病態,¹帯畜大・原虫・ゲノム機能,²東大院医・発生・医療工学)
- 78 マウス 2-cell block 胚の系統間交配による遺伝的要因の解析
○米田明弘, 岡田亜紀, 坂本晃子, 渡辺智正 (北大院農)
- 79 EGFP 遺伝子導入ラットの作出とラット初期胚での EGFP の蛍光発現
○滝澤明子, 久松 伸¹, 中井美智子, 帖佐瑞希, 猪股智夫, 其木茂則¹, 紫野正雄, 柏崎直巳 (麻布大・獣医,¹麻布大・環境保健)

(ブタ配偶子・胚発生)

座長: 阿部宏之 (ペプチド研), 南 直治郎 (京大・農)

- 80 Chromosome condensation is the result of a balance of histone H3 kinase and PP1/PP2A activities in pig oocytes
○Thuy Bui Hong, Luis G. Villa-Diaz, Emi Yamaoka, and Takashi Miyano¹
(Graduate School of Science and Technology, Kobe University,¹Faculty of Agriculture, Kobe University)
- 81 受精後ならびに活性化後の濃縮クロマチンを形成したウシ卵母細胞における LAP2β の局在
○伊佐治 麻実子, 岩田 尚孝¹, 太田 麻由子¹, 原山 洋, 三宅 正史 (神戸大自然科学,¹みのりの公社)
- 82 マウス初期胚の桑実期前後に発現が変動する遺伝子を標的としたサブトラクション cDNA ライブラリーの構築
○小林正之, 岩崎ゆみ, 長野広隆, 永易亜沙子, 小嶋郁夫 (秋田県大・生物資源科学部)

15:00-16:45 演題番号 83-89

(ブタ配偶子・胚発生)

座長: 永野昌志(北大院・獣), 菊地和弘 (農業生物資源研)

- 83 ブタ精子タンパク質 TyrP59 および TyrP32 の cAMP 依存的増加を制御するシグナリング経路
○原山 洋, 佐々木清美¹ (神戸大院自然,¹神戸大農)
- 84 カルシウム・イオノホア A23187 により誘起されたブタ精子の先体反応におけるセラミドの関与
○村瀬哲磨, 今枝紀明¹, 近藤菜穂, 坪田敏男 (岐阜大農,¹岐阜県畜研養豚研究部)
- 85 ブタ卵母細胞のステロイド代謝能, 表層粒の分布および卵質小滴の数に及ぼす IBMX の影響
○高野裕子, 新村末雄¹(新大院自然科学,¹新大農)

座長: 高橋昌志 (九州沖縄農業セ), 宮野 隆 (神戸大・農)

(卵子・形態)

- 86 ブタおよびクロミンクジラ卵細胞質の脂質分析と電子顕微鏡による微細構造の比較
○藤平 拓磨¹, 木下 幹明¹, 佐々木 基樹¹, 大西 正男¹, 石川 創², 大隈 清治², 福井 豊¹ (¹帯畜大,²日本鯨類研究所)

(ブタ配偶子・胚発生)

- 87 化学的組成の明らかな培地を用いたブタ胚の体外培養におけるヒアルロノンの影響
○吉岡耕治¹, Hans Ekwall, Heriberto Rodriguez-Martinez (Swedish University of Agricultural Sciences,¹動衛研)
- 88 完全限定培地によるブタ卵母細胞の体外成熟と顕微授精(ICSI)後の胚の発育能
○岸田理英¹, 李 殷松², 福井 豊¹ (¹帯畜大,²韓国江原大学校)
- 89 成熟中の卵丘細胞がブタ卵子の IP3 注入による細胞質内 Ca²⁺濃度上昇と胚発生に与える影響
○天野朋子, 森 匡, 渡邊智正(北大院農)

ポスター発表

ポスター会場 (アトリウム)

第3日目 9月13日 (土)

13:30-15:00 演題番号 90-144

(生殖工学)

- 90 外来 DNA 処理した精子・精子細胞の顕微授精によるトランスジェニックラットの作製
○加藤めぐみ^{1,2}, 石川綾子¹, 保地眞一³, 平林真澄¹ (岡崎生理研,²CREST,³信州大繊維)
- 91 体外培養ラット胚の産仔発生率に対する系統の影響
○平林真澄, 加藤めぐみ¹, 石川綾子, 保地眞一² (岡崎生理研,¹CREST,²信州大繊維)
- 92 雌核発生マウス胎仔におけるインプリント遺伝子の発現解析
○高野りや^{1,2}, 尾畑やよい^{1,2}, 丹羽勝利^{1,2}, 呉 瓊^{1,2}, 廣瀬未菜子¹, 河野友宏^{1,2}
- 93 Spindle morphogenesis in mouse nuclear transfer: an abnormal start of reprogramming in cloning?
○Nguyen Van Thuan, Sayaka Wakayama, Satoshi Kishigami, Teruhiko Wakayama (Laboratory of Genomic Reprogramming, Center for Developmental Biology, RIKEN Kobe Institute, Kobe 650-0047, Japan.)
- 94 マウス卵巣への遺伝子導入法の開発
○佐藤正宏, 木村穰¹, 谷河麻耶¹ (東海大総医研,¹東海大医基礎医学系)
- 95 ウシ頸部下皮由来線維芽細胞を供核細胞とした核移植再構築胚の染色体異常
○野口龍生, 児玉英樹¹, 鈴木暁之¹, 吉川恵郷¹ (岩手県北家畜保健衛生所,¹岩手県農業研究センター畜産研究所)
- 96 ハムスターの卵細胞質内精子注入 (ICSI) に由来する前核期と2細胞期胚におけるミトコンドリアの動態
○堀内俊孝, 山内康弘, 拝郷浩佑, 矢間 太 (広島県立大院生物システム研究科)
- 97 ブタ凍結乾燥精子由来 ICSI 胚の体外における発生能
○中井美智子, 菊地和弘¹, 滝澤明子, 野口純子¹, 金子浩之¹, 紫野正雄, 柏崎直巳 (麻布大,¹生物資源研)
- 98 バーコール密度勾配遠心法による犬精巣上体精子の分離
○菱沼 貢, 関根純二郎 (鳥取大農)
- 99 卵子成熟と加齢がミニブタ体細胞核移植胚の体外発生に与える影響
○星野洋一郎, 南直治郎, 長尾恭光, 山田雅保, 三宅正史¹, 今井 裕 (京大院農,¹神戸大自然)
- 100 ウシ体細胞核移植におけるドナー卵丘細胞の血清飢餓と Roscovitine 処理との比較
○富永敬一郎, 浜田由佳子, 柴谷増博 (兵庫農技総セ)
- 101 ウサギ卵細胞の活性化誘起後の初期発生に及ぼす olomoucine の影響
○井上玄志, 松田純一¹, 高橋清也², 館 鄰³, 佐藤英明, 徳永智之⁴ (東北大院農,¹化血研,²畜草研,³三菱生命研,⁴生物研)
- 102 体外生産系で作出されたブタ胚盤胞および出生子ブタにおける染色体分析
吉澤 緑, ○佐々木志野, 大木伸也, 福井えみ子, 菊地和弘¹, 大西 彰¹, 永井 卓¹ [宇都宮大農,¹独法・生物研]
- 103 ガラス化保存した脂肪滴除去ブタ未成熟卵子の体外成熟後の受精能
○朴 基殷, 権 仁圭¹, 丹羽皓二^{1,2} (岡山大,¹自然科研,²農)
- 104 水溶性プルランフィルムを用いたマウス受精卵のガラス化保存
○高木優二, 清水真由美, 坂本昌博 (信州大農)
- 105 ウサギ桑実期胚の Cryotop 法によるガラス化保存胚の生存性
○奥田泰士, 前泊直樹, 杉山英治, 鈴木ひとみ, 紫野正雄, 猪股智夫, 柏崎直巳 (麻布大学・獣医)
- 106 マウス卵子の非凍結保存について
○若山清香, Nguyen Van Thuan, 岸上哲士, 大田 浩, 水谷英二¹, 引地貴亮, 若山照彦 (理研 CDB,¹東北大院農)
- 107 ラット円形精子細胞の顕微授精: 精子細胞の凍結保存法と卵母細胞の活性化法の検討
○保地眞一, 山根香奈子, 加藤めぐみ^{1,2}, 石川綾子², 平林真澄² (信州大繊維,¹CREST,²岡崎生理研)

(臨床・応用技術)

- 108 ホルスタイン種若齢牛における連続過剰排卵処理成績と血中ホルモン (P, E₂) 濃度の推移

- 田川真人, 的場理子, 別府哲郎¹, 米内美晴, 齊藤則夫 (家畜改良センター, ¹現 家畜改良センター新冠牧場)
- 109 GnRH および FHS 投与により調節した乳牛の卵胞発育波での過剰排卵誘起
○佐藤太郎, 中田 健¹, 内山保彦, 藤原信子, 梅田雅夫, 古川武士(新潟農総研・畜研,¹酪農大・獣医)
- 110 水酸化アルミニウムゲルは卵胞刺激ホルモンの徐放剤として利用できる
○平子 誠, 高橋ひとみ, 川口 擁¹, 木村康二 (畜草研, ¹デンカ製薬)
- 111 発情周期7日目子宮角内への組換えウシインターフェロン τ の1回投与が発情周期に及ぼす影響
○下司雅也, 大下雄三¹, 児玉英樹², 高橋ひとみ, 高橋昌志³, 犬丸茂樹⁴, 横溝祐一⁴, 岡野彰 (畜草研, ¹鳥取県畜試, ²岩手県農研セ畜研, ³九州沖繩農研, ⁴動衛研)
- 112 ウシ子宮内膜組織の採取がその後の発情周期の長さおよび受胎性におよぼす影響
○伊賀浩輔, 志水 学, 平尾雄二, 竹之内直樹 (東北農業研究センター)
- 113 乳牛における分娩後のエネルギー充足状況が発情発現および受胎に及ぼす影響
○草刈直仁, 大滝忠利, 昆野大次, 二階堂聡¹, 遠谷良樹 (道立根釧農試, ¹現, 北海道立畜試)
- 114 乳用牛の周産期における栄養状態と分娩後卵巣活動との間の関連性
○高木光博¹, 森山直樹², 鬼山裕幸², 大谷昌之², 宮本明夫² (¹鹿大, ²帯畜大)
- 115 黒毛和種牛における卵巣腫瘍の病理学のおよび内分泌学的検査
○猪熊道仁, 似鳥和子¹, 羽田真悟, 弘田利恵, 安永千秋, 大澤健司, 三宅陽一 (岩手大, ¹NOSAI 胆江)

(内分泌)

- 116 ウシの下垂体前葉ホルモン分泌に及ぼすレプチンの影響について
○野中寿美恵, 堀内麻未, 粕谷悦子¹, 橋爪 力 (岩手大農, ¹生物研)
- 117 *In vitro* におけるグレリンのブタ成長ホルモン分泌特性
○堀内麻未, 野中寿美恵, 林 太平, 佐々木 貴, 滝澤美紗子, 橋爪 力 (岩手大農)
- 118 ウシの下垂体後葉抽出物は *in vivo* でも反芻家畜のプロラクチンを放出させる
○橋爪 力, 都丸摩有子, 野中寿美恵, 堀内麻未, 粕谷悦子¹(岩手大農, ¹生物研)
- 119 リコンビナントヒトアクチビンE およびインヒピンE の作製と精製
○宇城有紀, 橋本 統, 関 真知, 山口 修, 星 信彦, 長谷川喜久 (北里大・獣医)
- 120 Central blockade of fatty acid metabolism inhibits pulsatile luteinizing hormone (LH) release in female rats.
○Somchai Sajapitak, Hiroko Tsukamura, Mika Kinoshita, Ryutaro Moriyama and Kei-ichiro Maeda (Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University)

(卵巣生理)

- 121 幼若ラット卵巣の顆粒膜細胞に発現する遺伝子の定量的解析への laser microdissection 法の応用
○櫻田陽右, 代田真理子¹, 井上 薫, 代田欣二 (麻布大学附置生物科学総合研究所, ¹財団法人食品薬品安全センター)
- 122 異種間移植によるブタ原始卵胞の発育と卵母細胞の受精能
○金子浩之, 菊地和弘, 野口純子, 秋田富士¹(独法 農業生物資源研究所, ¹独法 畜産草地研究所)
- 123 黄体が主席卵胞出現に与える局所的影響
○高橋強, 手塚雅文, 林憲悟, 宮本明夫, 山本沙和¹, 浜野晴三¹ (帯畜大, ¹家畜改良事業団家畜バイオテクセンター)
- 124 ブタ卵胞の選抜における TRAIL を介したアポトーシス制御機構
○井上直子, 眞鍋 昇, 前田晃央, 中川真輔, 和田聡子, 宮本 元 (京都大学農学研究科・生体機構学)
- 125 ブタ卵胞閉鎖時の顆粒層細胞アポトーシスの制御に interleukin-6 が関わる
○前田晃央, 眞鍋 昇, 井上直子, 松井俊勝, 後藤康文, 宮本 元 (京都大学農学研究科・生体機構学)

(精巣生理)

- 126 *Sry* を全身性に発現するトランスジェニックマウスについて
○吉田和久, 伊藤雅方, 内藤邦彦, 東條英昭 (東大院農学生命 応用遺伝学)

(着床・妊娠)

- 127 ウシ初期胚の cDNA マイクロアレイによる遺伝子発現解析
○牛澤浩一, C.B.Herath, 金山佳奈子, 高橋 透, 今井 敬¹, 徳永智之, 角田幸雄², 橋爪一善 (生物研, ¹家改セ, ²近畿大)
- 128 内分泌攪乱物質がマウス胎仔の器官形成期における新規レチノイン酸受容体 (RAR- α および RXR- α) mRNA の発現動態に及ぼす影響
○西澤華子, 眞鍋 昇, 今西 哲, 森田真紀, 杉本実紀, 宮本 元 (京大)
- 129 Bisphenol A 曝露が胎膜における遺伝子発現に与える影響
○今西 哲, 西澤華子, 田中宇子, 岩堀みね子, 瀬崎恵一, 森田真紀, 杉本実紀, 眞鍋 昇, 宮本 元 (京都大学大学院 農学研究科応用生物科学専攻 生体機構学分野)
- 130 妊娠後期のラット子宮におよぼすエストロゲン合成阻害剤フェドロゾールの影響

- 玉田尋通, 清水優花, 稲葉俊夫, 川手憲俊, 澤田 勉 (大阪府大院農)
- 131 ウシ子宮内膜におけるインターロイキン (IL) -1α の生理的役割に関する研究
○谷川倫世, 福井 剛, 村上周子, 奥田 潔 (岡山大・院自然科学研)
- 132 ウシの子宮および胎盤におけるガストリン放出ペプチド (GRP)
○ブディピトジョ テグ, クルザナ マリア ベリャ C., 佐々木基樹,
松崎重範¹, 岩永敏彦², 北村延夫, 山田純三 (帯広大, ジェネティクス北海道¹, 北海道大²)
- 133 ウシ卵巣由来 EPF 様物質の精製
○遠藤久誉, 松原和衛, 高橋寿太郎 (岩手大・農)
- 134 ウシ超早期妊娠因子 (Super-EPF) モノクローナル抗体の作製の試み
○工藤 晶, 松原和衛, 高橋寿太郎 (岩手大・農)
- 135 ウシ子宮内膜の上皮細胞および間質細胞の単離・継代・凍結保存法の開発
○村上周子, 竹内宏佑, Dariusz J Skarzynski¹, 奥田 潔 (岡山大・院自然科学研, ¹ポーランド科学院)

(生殖細胞)

- 136 マウス生殖隆起と始原生殖細胞 (PGCs) 様細胞の培養及びその特性
○小田朋佳, 高橋寿太郎, 松原和衛, 上山あや子¹ (岩手大学 農学研究科 応用生物学専攻, ¹岩手大学機器分析センター)
- 137 ブタ発育途上卵母細胞の減数分裂の再開および進行に及ぼす PPI/PP2A 阻害剤の影響
○石川友香, Luis G. Villa-Diaz, 宮野 隆¹ (神戸大院自然科学, ¹神戸大農)
- 138 The role of p38^{MAPK} in meiotic maturation of porcine oocytes
○Luis G. Villa-Diaz, Konosuke Okada and Takashi Miyano¹ (Graduate School of Science and Technology, ¹ Faculty of Agriculture, Kobe University)
- 139 幼若マウスの一過性卵胞成熟由来卵子を用いた胚発生能関与遺伝子の検索
○鈴木 治, 小浦美奈子, 野口洋子, 高野 薫, 山本美江, 松田潤一郎 (国立感染研・獣医)
- 140 遅延 ICSI 法と ROSI 法による前核形成率及び発生率の比較検討
○岸上哲士, 若山清香, Nguyen Van Thuan, 若山照彦 (理研 CDB)
- 141 精子の凍結乾燥処理時間および保存温度がブタ顕微授精卵の初期発生におよぼす影響
○権 仁圭, 朴 基殷¹, 丹羽皓二^{1,2} (岡山大, ¹自然科学研, ²農)
- 142 屠場由来牛卵巣卵胞液中の電解質とグルコース濃度, それらが卵子の核成熟速度と受精後の発生に及ぼす影響
○岩田尚孝, 太田麻由子, 木村康二¹, 橋本 周², 森田 修³, 三宅正史⁴ (神戸みのり, ¹畜産草地試, ²YS ニューテクノロジー,
³兵庫県家畜共済, ⁴神大院自然)
- 143 マウス卵子成長過程における DNA メチル基転移酵素の発現
○林 真由¹, 尾畑やよい^{1,2}, 河野友宏^{1,2} (¹東農大, バイオ, ²生研機構)
- 144 マウス胚の胚盤胞形成における MEK 阻害剤の影響
○本田紅里徳, 大越勝広, 古沢 軌, 井上玄志¹, 徳永智之 (生物研, ¹東北大院農)